

労災疾病等医学研究普及サイトの御案内  
「石綿関連疾患診断技術研修(基礎・専門研修)」について

石綿(アスベスト)は耐熱性等に優れた天然の鉱物繊維で、建設資材や自動車部品などに利用されてきました(現在は使用禁止)が、石綿繊維を吸入すると肺がんや中皮腫などの原因となります。

これら石綿関連疾患の診断及び石綿ばく露所見の判定にはエックス線写真の読影等が必要となりますが、診断が困難な事例も多く、また医学的な知識・経験に加え、石綿ばく露等についての知識も必要となります。

当機構では、呼吸器系の疾患を取り扱う医師や産業医などの医療関係者を対象に、石綿関連疾患の診断技術の向上及び労災補償制度の周知を図るため、石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露の所見に関する読影方法および労災補償制度の取扱い等についての研修を実施しております。

研修の詳細及び今年度の研修予定につきましては、下記リンクをご覧ください(本研修は認定産業医の単位取得対象です。)

→ <https://www.research.johas.go.jp/asbestokenshu/>

また、お申し込み方法については、開催地の産業保健総合支援センターのホームページをご覧ください。